

地域課題・目指す将来像

地域
課題

- 本市の中心市街地には、北側に「東京たま未来メッセ(R4.10開業)」、南側に「桑都の杜(R8.10開業予定)」という2つの拠点が位置し、これらを核とした中心市街地エリアの活性化を進めている。
- 八王子駅南口では桑都の杜の整備が進む一方、東西に横断する鉄道などに起因する車両や歩行動線の偏在、これに伴う短距離移動手段の不足、また、高低差のある地形による移動負担など、中心市街地の北側と南側の回遊性の向上が課題となっている。
- 桑都の杜の開業後に、地元住民の日常の生活導線と桑都の杜への来場導線の重なりによる交通混雑が予測されている。

将来像

- 快適に移動できる公共交通基盤の形成
 - ・回遊性向上に向けた交通環境の整備
- 多様な移動手段の確保によるにぎわいの形成
 - ・新技術を活用した新たなモビリティサービスの導入促進

推進体制

名称：八王子市未来技術地域実装協議会

地方公共団体	東京都八王子市
国（★は現地支援責任者）	★国土交通省関東地方整備局、警察庁交通企画課、経済産業省、関東経済産業局産業部製造産業課、国土交通省関東運輸局交通政策部交通企画課、国土交通省関東運輸局自動車技術安全部技術課、デジタル庁国民向けサービスグループ、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、内閣府地方創生推進事務局
民間事業者	調整中
大学等	調整中

課題解決に向けた取組

①自動運転実装プロジェクト【自動運転】

- ・桑都の杜の開業を契機として、八王子駅南口と桑都の杜を結ぶ自動運転バスを導入し、主要拠点間のアクセス性を強化する。
- ・さらに、北口の既存のにぎわいと南口における新たな人流を結びつけることで、自動運転による回遊動線を形成、中心市街地の面的なにぎわいを創出し、経済活力の向上につなげる。
- ・企業等の先進技術を活用し、複雑な市街地における安全かつ安定した運行の実証・検証並びにデータの蓄積・分析を進める。また、実証運行において得られる走行データやヒヤリハット事例を蓄積・分析し、安全・安心な運行へつなげる。
- ・市民、商店会、大学など多様な主体と連携し、自動運転を核とした持続可能な移動サービスの構築を目指す。また、利用者の声を反映しながら、誰もが利用しやすい交通環境を整備し、地域全体の活性化につなげる。

中心市街地の北側と南側との回遊性の向上を促進



中心市街地エリアイメージ図